

下水道事業におけるウォーター P P P 導入の検討について

1 経緯

- ・下水道事業を持続可能なものとするためには、今後増加が見込まれるヒト（担い手の減少）・モノ（施設の老朽化）・カネ（収入の減少）の課題に対して検討が必要。
- ・内閣府が発出した「P P P / P F I 推進アクションプラン（R 5）」にて下水道事業が抱える課題への対応策の一つとして「ウォーター P P P」が位置づけられた。
- ・国土交通省からは、ウォーター P P P の導入が社会資本整備総合交付金の交付要件となることが示されている。（R 9 年度から適用見込み）
- ・市においても、ウォーター P P P の導入が課題解決に繋がるか見極める必要があり、また、管路施設の改築更新には交付金を活用していることから、導入の可否について検討を行う必要がある。

2 ウォーター P P P とは

- ・水道、工業用水道、下水道などの水道分野を対象とした官民連携方式で、コンセッション（公共施設等運営事業）方式と、「管理・更新一体マネジメント方式」を併せた総称 ※内閣府「P P P / P F I 推進アクションプラン（R 5）」より

3 ウォーター P P P の導入要件（次の4 項目を満たす必要がある）

- （1）長期契約（原則 1 0 年）
- （2）性能発注
- （3）維持管理と更新の一体マネジメント発注
- （4）プロフィットシェア（費用縮減分のシェア）

4 現状

- ・管路施設は案件ごとに仕様発注、処理場・ポンプ場の運転管理は 5 か年契約による業務委託（仕様発注）となっている。

5 スケジュール（予定）

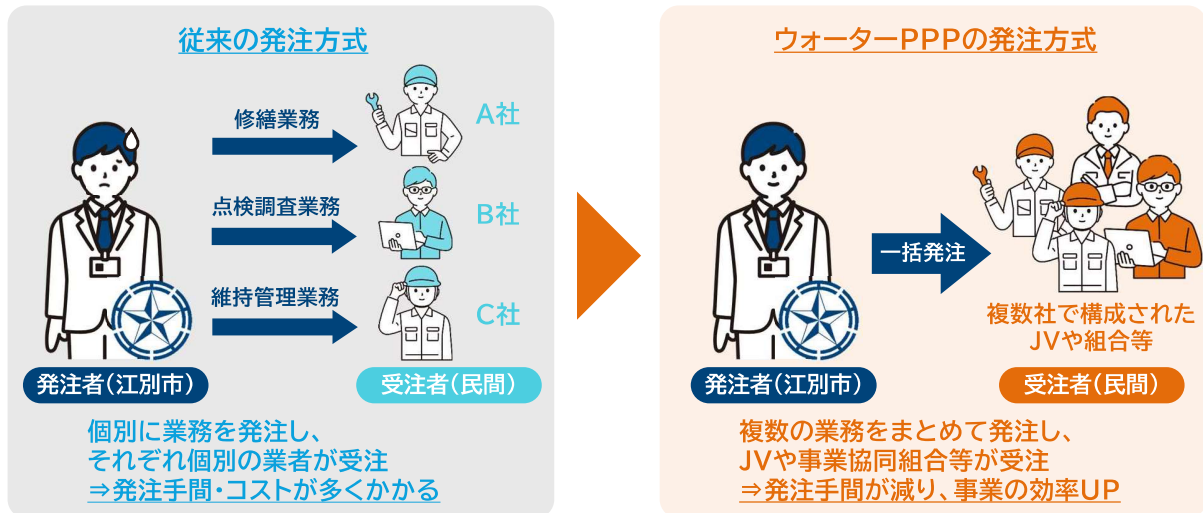
- ・ R 7 年度・・・導入可能性調査を行い、対象施設や対象業務の検討を行う。
※ R 7. 9 ～ R 8. 2 にサウンディング調査を 2 回実施予定
- ・ R 8 年度・・・導入可否について判断
- ・ウォーター P P P 導入が必要と判断された場合の開始時期については未定。

ウォーターPPPとは？



「ウォーターPPP」って何？

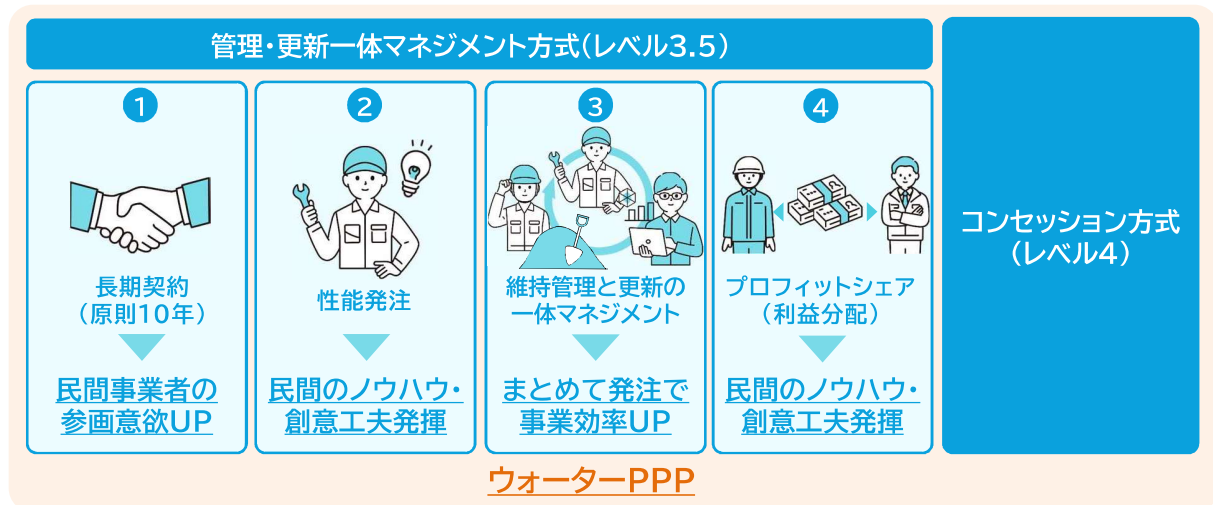
下水道に関係する仕事について、役所と民間業者と一緒に仕事を行う**官民連携方式**というしくみの一つです
バラバラに発注していた業務をまとめて発注したり、長期契約したりすることで、**業務の効率化や、民間のノウハウ・創意工夫の活用**が期待できます



1

ウォーターPPPとは？

バラバラに発注していた業務を一つにまとめる方法に、「**コンセッション方式(レベル4)**」と「**管理・更新一体マネジメント方式(レベル3.5)**」があり、これらの総称を「**ウォーターPPP**」と呼んでいます



PPP(Public Private Partnership)とは

公共施設等の建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行うことにより、民間の創意工夫等を活用し、資金の効率的な使用や事業の効率化等を図る手法のこと。

2

ウォーターPPPとは？



どうしてウォーターPPPが必要なの？

上下水道が抱えるヒト・モノ・カネに関する課題を解決する取組の一つだからです



上下水道が抱える課題



担い手の減少



施設の老朽化



収入の減少

今後
さらに加速

必要な取組

- 職員不足の補完
- 民間のノウハウ・創意工夫活用による事業の効率化
- 経営の改善

ウォーターPPPで
解決！



これまでの包括的民間委託とウォーターPPPは何が違うの？

主な違いは業務範囲と契約期間です。
ウォーターPPPは包括的民間委託よりも広い業務を対象とし、
長期的な運営による事業の効率化・コスト削減を目指しています。



	業務範囲	契約期間	発注方式	その他特色
包括的民間委託	維持管理のみ	3～5年	仕様発注または性能発注	—
ウォーターPPP	維持管理+更新工事	10年	性能発注	プロフィットシェア

ウォーターPPPの効果・メリット



ヒト
新技術や民間のノウハウの活用
による担い手不足への対応



モノ
効率的かつ効果的な
維持管理・更新



カネ
効率的な資金運用による
財政負担の軽減

3

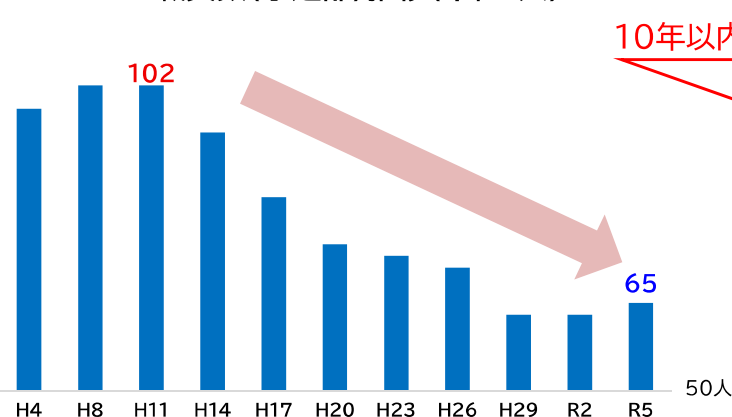
江別市の状況

下水道事業の課題(ヒト)

担い手の減少・高齢化

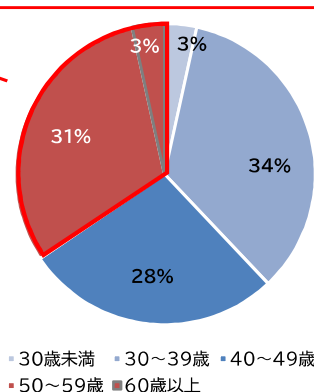
水道部の職員数は近年減少傾向にあり、職員の高齢化も進んでいる
施設の老朽化に伴う業務量の増加に加え、耐震化・耐水化等の他事業への対応も必要
→今後職員が不足すると下水道機能・サービス水準の維持に影響

職員数(水道部)推移(単位:人)



職員の年齢構成(下水道)

10年以内に定年(役職定年)を迎える職員:約3割



4

江別市の状況

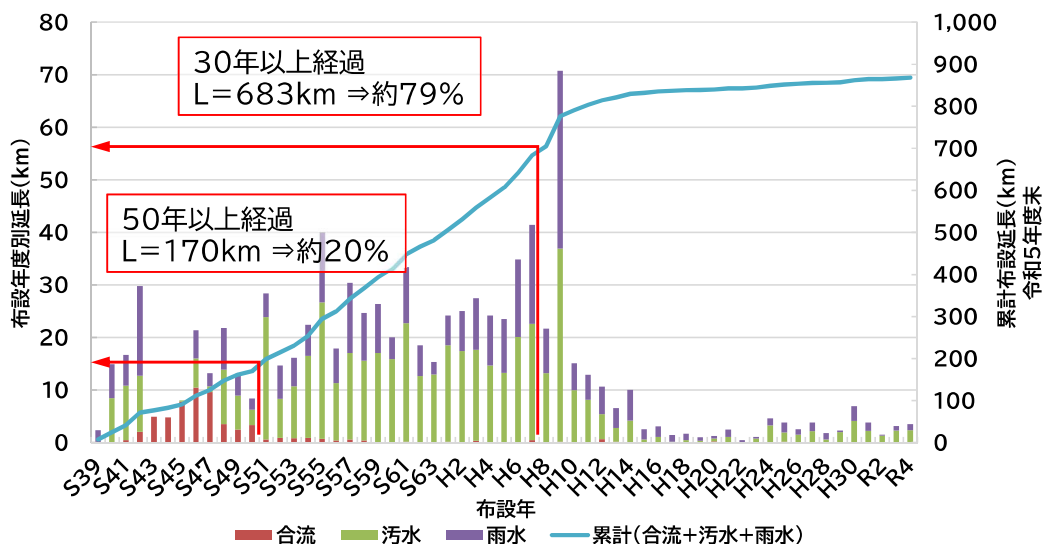
下水道事業の課題(モノ)

施設の老朽化

管路、処理場、ポンプ場などの老朽化施設が増加する見込み

→現在は各種調査や点検で管理できているが、職員数の減少等によりサービス水準が低下すると、**道路陥没や設備故障の頻発化、業務量増加のおそれ**

耐用年数を超過した管渠延長



5

江別市の状況

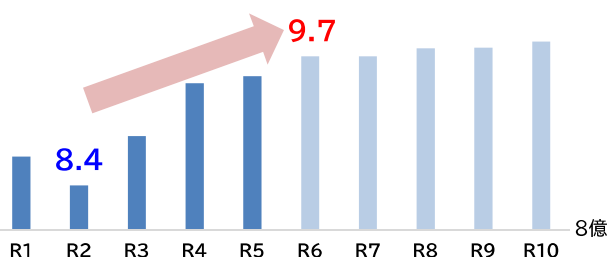
下水道事業の課題(カネ)

収入の減少・支出の増加

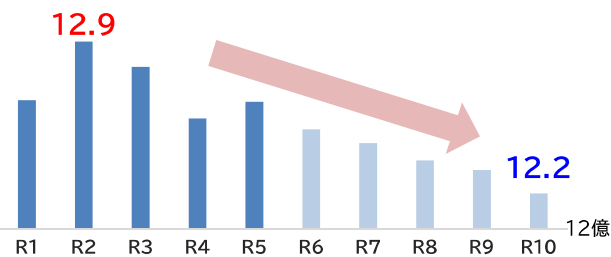
老朽化施設の増加による**維持管理費及び建設改良費の増加**

人口減少や節水意識の高まりなどによる**下水道使用料の減収**

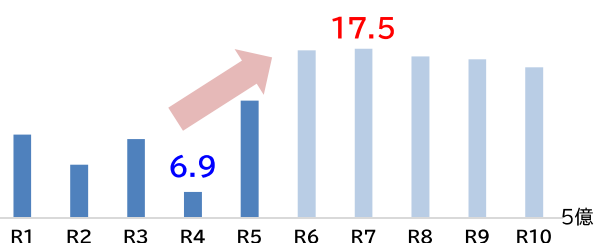
【支出】維持管理費推移見込(単位:億円)



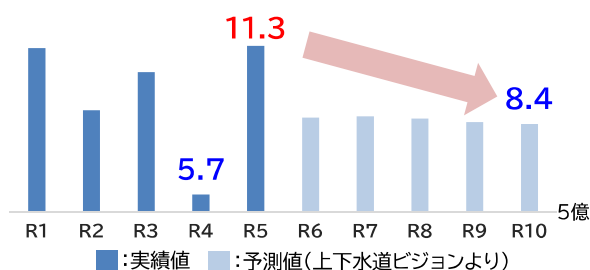
【収入】使用料収入推移見込(単位:億円)



【支出】建設改良費推移見込(単位:億円)



【収入】資本的収入推移見込(単位:億円)



6